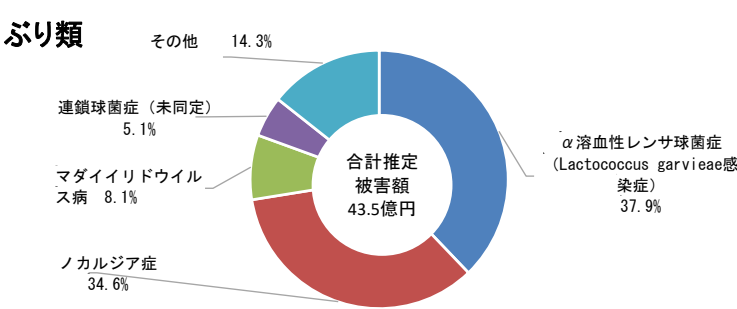


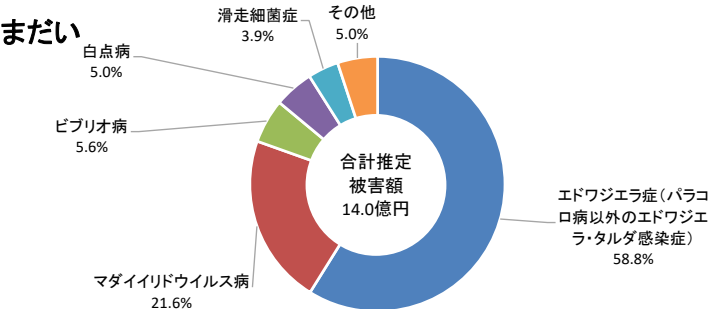
魚病被害の内訳（令和３年）

被害額の大きい魚種	合計生産額 (百万円) (A)	合計推定被害額 (百万円) (B)	(B/A)	魚種別に被害割合の高い疾病					
				1位	被害額に占める割合	2位	被害額に占める割合	3位	被害額に占める割合
1 ぶり類	116,773	4,348	3.7%	α溶血性レンサ球菌症 (Lactococcus garvieae感染症)	37.9%	ノカルジア症	34.6%	マダイイリドウイルス病	8.1%
2 まだい	59,905	1,396	2.3%	エドワジエラ症 (バラコロ病以外のエドワジエラ・タルダ感染症)	58.8%	マダイイリドウイルス病	21.6%	ビブリオ病	5.6%
3 くらまぐろ	56,528	880	1.6%	連鎖球菌症 (未同定)	48.0%	α溶血性レンサ球菌 (Lactococcus garvieae感染症)	36.7%	マダイイリドウイルス病	9.3%
4 うなぎ	75,849	855	1.1%	バラコロ病	38.8%	不明病 (原因不明)	23.3%	ウイルス性血管内皮壊死症 (鰓うっ血症)	10.7%
5 くるまえび	6,658	539	8.1%	サルマエビ急性ウイルス血症 [PAV] (ホワイトスポット症 [WSD])	54.3%	ビブリオ病	38.9%	鰓黒病 (フサリウム症)	6.9%
6 ひらめ	2,792	515	18.5%	エドワジエラ症 (バラコロ病以外のエドワジエラ・タルダ感染症)	93.2%	Streptococcus iniae感染症 (β溶血性レンサ球菌症)	2.8%	スクーチカ症	1.2%
7 ふぐ類(とらふぐ、まふぐ)	7,141	489	6.9%	粘液胞子虫性やせ病	42.0%	ビブリオ病	19.5%	エラムシ症	19.2%
8 その他の海産魚類	4,354	284	6.5%	不明病 (細菌性)	29.7%	ビブリオ病	16.2%	類結節症	15.4%
9 しまあじ	5,708	277	4.9%	α溶血性レンサ球菌症 (Lactococcus garvieae感染症)	64.9%	連鎖球菌症 (未同定)	20.5%	ノカルジア症	11.3%
10 あゆ	6,262	178	2.8%	冷水病 (細菌性冷水病) [BCWD]	54.0%	不明病 (原因不明)	13.8%	ボケ病 (原因不明：アユのACGDに診断されていない)	13.3%

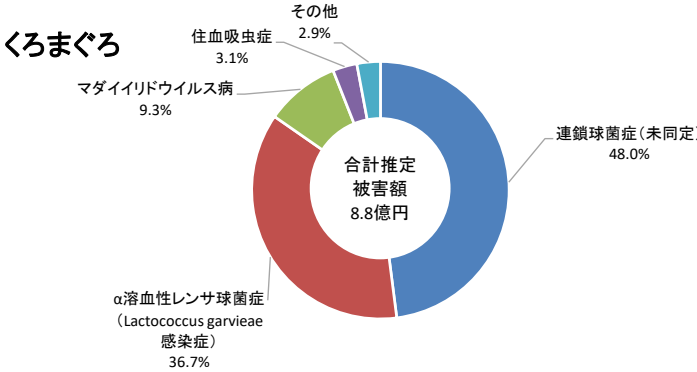
ぶり類



まだい



くらまぐろ



うなぎ

